

おおやみち

第73号

平成22年(2010年)10月10日
滋賀県立安土城考古博物館

平成22年

10月16日(土) ~
11月14日(日)

開館時間 / 午前9時~午後5時
(ただし入館は午後4時30分まで)

平成22年度秋季特別展

室町最後の将軍

— 足利義昭と織田信長 —



織田信長画像(摺見寺蔵)



足利義昭画像(東京大学史料編纂所蔵)

入館料 / 大人 860円(660円)
高大生 610円(450円)
小中生 400円(300円)
県内高齢者(65歳以上) 460円(340円)
※()は20人以上の団体料金です。※「信長の館」との共通券もあります。
休館日 / 月曜日 ※ただし11月1日は開館

【主催】 滋賀県立安土城考古博物館
【後援】 朝日新聞大津総局 京都新聞滋賀本社
産経新聞大津支局 中日新聞社
日本経済新聞社大津支局 毎日新聞大津支局
読売新聞大津支局 共同通信社大津支局
時事通信社大津支局 KBS京都 NHK大津放送局
90C TV 湖放送 滋賀報知新聞社

室町最後の将軍 足利義昭と織田信長

織田信長に奉じられて室町幕府第15代将軍となつた足利義昭は、天下統一を目指す織田信長と次第に対立するようになり、元龜四年（一五七三）、宇治槇島城で信長に対して兵を挙げ敗退します。歴史の教科書では、これをもって「室町幕府滅亡」と位置づけていますが、義昭はその後も紀州由良（和歌山県由良町）や鞆の浦（広島県福山市）を流浪しつつも征夷大将軍の地位にあり続け、小規模ながら幕府機構を保持していました。義昭は、在京時は江北の浅井氏・越前の朝倉氏や三好三人衆・一向一揆を陰で指示しながら信長の畿内制圧を阻み続け、鞆の浦にあつては甲斐の武田氏・越後の上杉氏・中国の毛利氏・大坂本願寺などの反信長勢力を糾合しており、信長にとつて、最も長く執拗な敵となつていくのです。

展覧会では、室町幕府最後の将軍である義昭の辿つた足跡を、その発給文書や関係資料・関係人物の画像などから紹介し、幕府と将軍権力の終焉を考えていきます。

主な展示資料（は国宝 重要文化財）

足利義昭画像（東京大学史料編纂所蔵）

洛中洛外図帖（奈良県立美術館蔵）

一乗院覚慶（義昭）禁制 東寺百合文書

（京都府立総合資料館蔵）

足利義昭御内書 上杉家文書

（米沢市上杉博物館）

足利義昭御内書 小早川家文書（文化庁蔵）

細川幽斎夫妻画像（京都市天授庵蔵）

毛利輝元画像（毛利博物館蔵）

小早川隆景書状 毛利家文書（毛利博物館蔵）

鞆城跡出土鬼板瓦

（福山市鞆の浦歴史民俗史料館蔵）

足利義昭胸肩衣（福山市常國寺蔵）

上井寛兼日記（東京大学史料編纂所蔵）

瀬戸内海航路図屏風（大阪城天守閣蔵）

関連行事等

記念講演

「流浪の将軍 鞆公方義昭と毛利氏」

日時：一月七日（日）午後一時三〇分～三時

講師：島根大学准教授 長谷川博史氏

博物館講座「足利義昭政権と織田信長」

日時：一月二四日（日）午後一時三〇分～三時

講師：東洋大学講師 久野 雅司氏

いずれも会場は当館セミナールーム

定員140名（当日先着受付順、参加無料）

ギャラリートーク

日時：一月三日（祝・水）午後一時三〇分～

講師：当館学芸員

無料ですが特別展入館料が必要です

滋賀県文化財保護協会 調査整理課通信

出土品から見た近江の戦国時代

清滝寺遺跡・能仁寺遺跡と

関津城遺跡

今回は、八月二日に開催した「あの遺跡は今！」で中間報告を行った、戦国時代の遺跡である米原市清滝寺遺跡・能仁寺遺跡と、大津市関津城遺跡について紹介します。

清滝寺遺跡・能仁寺遺跡は、室町時代の北近江の守護であつた京極氏に関連する遺跡です。出土遺物には、輸入陶磁器や瓦の存在、土器は常滑や瀬戸・美濃産に偏る、鍋・釜など煮沸具がほとんどない、などの特徴がみられ、京極氏の実態や宗教観、遺跡の性格等を考える上で重要な情報といえ、今後分析していく予定です。

関津城遺跡は、清和源氏の流れをくむという宇野源太郎守治が承久の乱の戦功により鎌倉幕府から与えられたといわれています。出土遺物は、信楽焼すり鉢や備前焼大甕のほか輸入陶磁器や調度品を飾る金属製品、武器・武具、鉄釘、漆器などが出土しています。城の曲輪から、これだけバラエティに富んだ遺物が出土することは稀です。近江の南の玄関口である瀬田川と関津峠を眼下に見下ろすこの地に居城を構えた



関津城遺跡の飾金具に刻まれた五三桐

当時の武士団の生活ぶりを如実に示す資料と言えます。

収蔵資料紹介

弥勒菩薩像 一幅

近江八幡市 長命寺所蔵
絹本着色 一一八・〇cm x 六二・九cm

琵琶湖を見下ろす近江八幡市長命寺山の中腹に伽藍を構える長命寺は、西国三十三所観音霊場の第三十一番札所として多くの参詣者を集める名刹です。数多くの寺宝のうち、文書や絵画など、資料の一部が当館に寄託されていますが、寺伝で弥勒菩薩像とされる本図もその一つです。

弥勒菩薩は慈氏菩薩ともいい、現在は天上界の兜率天で修行中の身ですが、釈尊入滅から五十六億七千万年後にこの地上に出現して仏となり、釈迦の教化に洩れた人々を救済するとされています。兜率天上で思索にふける姿を現わしたのが、京都・広隆寺や奈良・中宮寺に伝わる半跏思惟像と呼ばれる形式です。この二像があまりにも有名なため、弥勒菩薩という



と誰しもこのタイプをイメージしがちですが、平安以降は宝塔を持つ像がむしろ一般的で、さらに仏として出現する姿を先取りした如来形の作例もつくられました。

本像はこうしたポピュラーな形制とは異なり、実際の作例としては余りお目にかからない像容を示します。すなわち、大円相を負って蓮華座上に半跏趺坐し、水瓶を載せた蓮茎を右手に執り、左膝頭に左手をおいて触地印とします。また、頭部に五仏冠を戴き、耳に環状の飾りをつけています。坐法や印相、持物については『十巻抄』など各種図像集に見え、五仏冠や耳飾りについても儀軌に説かれているため、寺伝通り弥勒像と見て間違いないでしょう。制作時期は鎌倉後期（十三世紀）で、彩色や本紙の剥落など、損傷が目立つ点が惜しまれますが、異形の弥勒像として貴重な作品となっております。（山下 立）

滋賀県教育委員会文化財保護課 城郭通信

シンポジウム

「安土 信長の城と城下町」

特別史跡安土城跡調査整備事業は、平成二〇年度をもって、二〇年計画を終了しました。その間に得られた多くの成果については、いろいろな刊行物や、毎年の現地説明会・史跡案内・講座など、さまざまな形で発信してきました。

今回、その決定版ともいへばシンポジウムを開催いたします。パネラーに藤田達生さん（三重大学教授）と千田嘉博さん（奈良大学教授）という、織田政権論・城郭研究の分野で、第一線で活躍される研究者を迎え、前滋賀県安土城跡調査研究所長近藤滋さんをはじめ、安土城跡調査整備事業に携わったスタッフとが、つづり四つに組んで安土城についての議論を展開します。皆さん多岐な方々ですので、多方面にわたる議論が期待できます。ぜひご参加ください。

シンポジウムは十一月二十七日（土）午後一時から、安土文芸セミナーホールで開催します。参加ご希望の方は申し込みが必要です。安土文芸セミナー（電話〇七四八 四六 六五〇七・FAX〇七四八 四六 六五〇〇・メール bungei@zcity.ne.jp）までお願いします。なお、シンポジウムの詳細については「淡海の城」友の会のホームページをご覧ください。
<http://www.geocities.jp/nobunaga9999castle/dengonban.html#shinpo>

博物館の主な催し

10月	「室町最後の将軍 足利義昭と織田信長」 平成22年度秋季特別展 平成22年10月16日(土)～11月14日(日)	テーマ展 藤岡謙二郎と近江の縄文遺跡展 平成22年11月9日(火)～12月26日(日)	10日(日)	体験博物館「戦国食をつくろう」 13時30分～ 参加費：500円 場所：館敷地内 要申込：先着20名
			17日(日)	秋のお茶会 午前10時～午後3時 お茶・お菓子代：300円 場所：旧柳原学校校舎 当日受付：約100名
			24日(日)	博物館講座「足利義昭政権と織田信長」 13時30分～(先着140名) 講師：久野 雅司氏(東洋大学講師) 無料 場所：セミナールーム
			31日(日)	体験博物館「忍者になってみよう」 13時30分～ 参加費：500円 場所：多目的広場 要申込 先着30名
11月			3日(祝・水)	平成22年度秋季特別展関連 ギャラリートーク 13時30分～14時30分 講師：高木 叙子(当館学芸課) 場所：企画展示室 入館料が必要
			7日(日)	特別展記念講演会 「流浪の将軍 - 頼公方義昭と毛利氏 - 」 13時30分～(先着140名) 講師：長谷川博史氏(島根大学准教授) 無料 場所：セミナールーム
			7日(日)	近江風土記の丘写真撮影会 10時～16時 参加費：無料 場所：風土記の丘周辺 応募締切：11月23日(祝・火)
			14日(日)	体験博物館「安土城を探検する」 13時30分～ 参加費：300円+入山料 集合場所：当館エントランスホール 要申込 先着20名
12月			28日(日)	博物館講座「藤岡謙二郎と縄文時代前半期の遺跡立地 - 近江を中心に - 」 13時30分～(先着140名) 講師：鈴木 康二(当館学芸課) 無料 場所：セミナールーム
			7日(火)～ 1月10日 (祝・月)	平成22年度「近江風土記の丘写真撮影会」作品展 無料 場所：2F ラウンジ
			19日(日)	博物館講座「四季の花に遊ぶ鳥」 13時30分～(先着140名) 講師：上野 良信(滋賀県立琵琶湖文化館) 無料 場所：セミナールーム
			23日(祝・木)	「クリスマス親子映画会」 13時30分～ 上映作品 アニメ「11ぴきのねこ」 要申込 先着 140名 無料 場所：セミナールーム
			平成22年12月4日(土)～平成23年1月23日(日) 平成22年度特別陳列「四季の花に遊ぶ鳥 - 琵琶湖文化館収蔵品から - 」	



「冬近し」塚本登志子
(昨年度信長賞作品)

・詳しくは当館までお問い合わせ下さい。
撮影場所：近江風土記の丘「一帯」
(当日消印有効)

撮影会日時：平成22年11月7日(日)10時～16時
応募作品受付平成22年11月7日(日)
～11月23日(祝・火)

当館では、毎秋「近江風土記の丘写真撮影会」を開催しています。この撮影会は、当館とその周辺に広がる「近江風土記の丘」の撮影を通じて、豊かな自然や多くの史跡・文化財に親しんで頂くとするものです。どうぞお気軽にご参加ください。また、当日参加できなかった方も、作品を応募することができますので、ふるってご応募下さい。

「近江風土記の丘写真撮影会」のご案内

おおてみち 第73号
平成22年(2010年)10月10日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678 TEL 0748-46-2424
E-mail:gakugei@azuchi-museum.or.jp URL http://www.azuchi-museum.or.jp